



新 企 号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

北海道新得町長 浜 田 正 利



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で照会のありました標記につきまして、別添のとおり意見を提出いたします。

中期的な計画作成に対する意見について

氏名	浜田正利
住所	北海道上川郡新得町3条南4丁目
所属	新得町長
電話番号	0156-64-5111
意見	<p>◎高速道路の有効・効率的な利活用（追加ICの設置及び設置要件の緩和）</p> <p>高速道路の有効・効率的な利活用を図るためには、高規格幹線道路の整備計画において、インターチェンジが設置されていない沿線市町村にICを追加整備する必要があります。そのためにはICをより整備しやすくすることが必要であり、現行制度における設置要件の緩和、道路特定財源により整備ができるようにすることなどの特例の設定などを行う必要があります。</p> <p>このことよって、沿線周辺地域における経済活動の円滑化をはじめ、農林漁業や観光産業等の広域的な地域振興を図ることができます。特に中央と比べ競争力の弱い地方部においてはその寄与するところは大きく、北海道においては「北海道総合開発計画」の促進に必要な良質基盤施設となるものです。</p> <p>新得町においては「観光のまちづくり」の取組みを展開しており、狩勝高原のサホロリゾートや地中海クラブ、大雪山国立公園内の登山愛好者憧れの百名山の1つ「トムラウシ山」等の山々やトムラウシ温泉等全国的にも知名度のある観光施設を有しており、道内外からの観光客も多く、北海道横断自動車道への追加ICの整備は、新得町をはじめ十勝の観光の活性化に必要であります。</p> <p>また、より気軽に高速道路を利用しやすくするためにも料金体系の引き下げを行い、身近な高速道路を目指すべきであります。</p> <p>◎観光ポイントにおける安全対策</p> <p>観光立国を目指している日本においては、観光客の安全の確保が必要不可欠であります。</p> <p>そのため、観光地においては自動車と自転車・歩行者の分離や駐車帯などなど、安全確保のための整備が必要です。</p> <p>新得町においては、国道38号沿線に位置する新得そば本舗、そばの</p>

館周辺はそばロードとして、毎年、そばの花の開花時期にそばの里祭りが開催されていますが、沿道には歩道が無く散策を楽しむ人たちには大変危険な状況となっています。このような観光地においては、安全確保のための道路整備を促進する必要があります。

◎狭小幅員道路、橋梁の解消と構造物の延命化

日本の穀倉地帯といわれる十勝においては、広大な面積を有する農地での大規模機械化農業が進展し、トラクターやコンバイン等の農業機械も大型化が進んでおります。このため、一般車両の通行も含め、国道や道道、市町村道の安全な通行確保のために、幅員が狭く交通事故が懸念される道路や橋梁の拡幅整備が必要であり、また、道路や橋梁の延命化を図るための適切な維持管理が必要であります。

◎冬期対策の強化と環境に配慮した維持管理技術の導入

北海道では、冬期間の降雪、地吹雪、凍結などが生活に大きな影響を及ぼす他、災害や救急などの迅速な対応、特に高度救急治療が必要な救急患者は中心都市までの速やかな搬送を要します。このため、市町村道から国道までの全ての道路において、除雪体制の強化や、地吹雪による視界不良の解消、吹き溜まり等による交通障害の解消など防雪対策を図る必要があります。

また、国道38号は、道東と石狩・空知・上川方面を結ぶ重要路線であるほか、通行止めが多い日勝峠の迂回路線としての役割もあることから、当該路線の狩勝峠は常に走行できる状態を保つことが必要であると考えます。また、国道38号の峠部以外においても幹線機能を確保するための防雪対策が必要です。

一方、環境に配慮した維持管理技術の導入が必要と考えます。たとえば、峠を安全に安心して通行できるように冬期間の路面状態をセーフティに保つことが重要であり、峠の一部に自然エネルギー（太陽光発電）によるロードヒーティングを導入するというようなことも考えられます。

◎地方道の整備及び維持管理の充実

市町村道にあつては、未改良、未舗装となっている路線が未だ数多く存在し、安全・安心な通行や利便性の向上、産業の振興を図るうえで、今後も必要な道路整備を行っていく必要があります。また、冬期間の除雪体制の充実や凍上による路面の補修、橋梁の維持や架替え、歩道の補修や拡幅など様々な課題を抱えているとともに、住民ニーズに対応するため、道路の維持管理の充実と必要な財源を確保することが必要です。